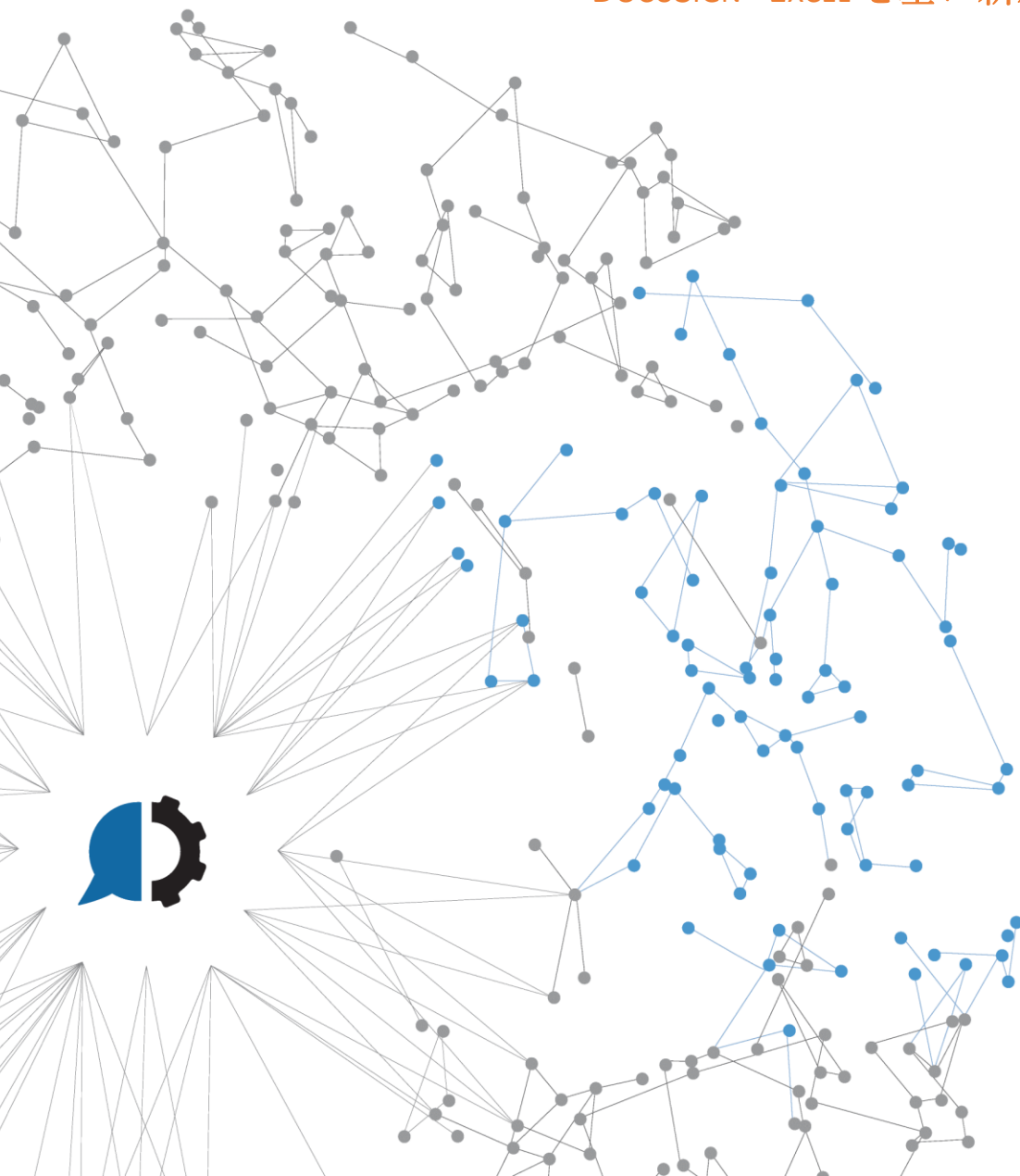




DOCUSIGN BOT

DOCUSIGN - EXCEL を基に新規ユーザーを作成





d

目次

概要.....	3
必要条件.....	4
AUTOMATE タスクのインポート方法	7
入力ファイルの作成方法.....	8
「DOCUSIGN - EXCEL を基に新規ユーザーを作成」の実行方法.....	9
付録 A－結果を含む EXCEL ファイルと、DOCUSIGN ユーザーによる結果例	11
付録 B－ラブルシューティング	12



概要

この How to ガイドでは、「DOCUSIGN - EXCEL を基に新規ユーザーを作成」をご紹介します。繰り返しの多い手作業に貴重な時間とリソースを費やす代わりに AutoMate に任せて、RPA による自動化で IT とビジネスプロセスを合理化しましょう。AutoMate の支援により、ボットが手作業を代行することで反復作業を大幅に減らし、作業の品質と一貫性を向上させることができます。自動化されている主なプロセスは、レポート作成、ファイル移動、データのインポートとエクスポート、バッチ処理のスケジューリングです。

「DOCUSIGN - EXCEL を基に新規ユーザーを作成」は、DocuSign eSignature REST API をベースにしています。「/accounts/ {accountId}」を実行することで、DocuSign で管理する特定の アカウントに関連付けられたユーザを作成します。/HTTP POST メソッドに Excel ファイルで提供されたデータを入力し、実行結果で更新します。作成後、ユーザーにはアカウント有効化のための *DocuSign* メールが送信されます。このボットは、ユーザー名とパスワードは使用せず、API Token 認証方式を使用しています。トークンは、認証のスコープに使用されるアカウントに関連付けられますので、アカウントごとにボットが必要になる場合があります。詳細な情報は、「[必要条件](#)」と「[入力ファイルの作成方法](#)」をよく確認してください。

また、「[DocuSign - トークンの生成と更新](#)」があり、このボットが動作するための最初のトークン作成とリフレッシュのための簡単な方法を提供することになります。デフォルトでは、トークンは8時間後に失効します。このボットは OAuth Authorization Code Workflow をベースにしています。



必要条件

- **AutoMate:** DocuSign ボットは動作に AutoMate を必要とします。最低限サポートされているバージョンが以下の通りです
 - [AutoMate Ultimate 11.2](#)
 - [AutoMate Plus 11.2](#)
 - [AutoMate Desktop 11.2](#)
- **AutoMate Markup Language file (.AML):** DocuSign タスクのステップを含む AutoMate で使用される主要なファイル形式
- **DocuSign:** 最低限必要なものは以下の通りです
 - **DocuSign eSignature で作成された統合の申請について:** トークン作成のための適切なスコープとリクエストを設定し、他の DocuSign Bots の接続に使用できるようにするには、DocuSign プラットフォーム内にアプリケーションを作成する必要があります。ADMIN エリア > INTEGRATIONS > API and Keys セクションで確認することができます。

API & Keys

Developers who would like to integrate DocuSign into their software need to create and configure an integration key (also known as a client id), as well as other app parameters. An integration key is used to make API calls, whether you are calling an API directly or using an SDK.

My Account Information

User ID

API Account ID

Account's Base URI

My Apps / Integration Keys

[ADD APP / INTEGRATION KEY](#)

App Name ▲	Integration Key	Status	
Automate	18	● Demo	ACTIONS ▼



管理者（DS Admin）である必要がありますので、権限がない場合は、DocuSign の管理者にご確認ください。アプリの作成方法の詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

- **ボット実行のための適切な権限スコープで生成された DocuSign トークン:** アプリケーションが作成され、設定されると、接続用のトークンを生成できるようになります。このボットを動作させるには、次のスコープが必要です：「**signature**」と「**offline_access**」
署名スコープは、アカウント管理、作成、送信、一覧表示、封筒、テンプレート、その他のオブジェクトなど、eSignature REST API のメソッドに必要です。「**offline_access**」は、オフラインでリクエストを実行できるようにするためのものです(bot に動作させる)。トークン生成のために選択できる OAuth ワークフローは様々ありますが、**DocuSign OAuth Authorization Code Workflow** をベースにした「**DocuSign - トークンの生成と更新**」も提供していますので、留意してください。また、このワークフローを詳細に説明するユーザーガイドもあります。



- **DocuSign API アカウント ID:** この ID は、お客様の DocuSign アカウント（Platform）に関連付けられたものです。ADMIN エリア > INTEGRATIONS > API and Keys セクションに移動して取得することができます:

API & Keys

Developers who would like to integrate DocuSign into their software need to create and configure an integration key (also known as a client id), as well as other app parameters. An integration key is used to make API calls, whether you are calling an API directly or using an SDK.

My Account Information

User ID

API Account ID

Account's Base URI

<https://demo.docusign.net>

- **DocuSign eSignature API バージョン:** このボットは DocuSign eSignature API v2.1を使用して作成しています。
- **DocuSign の接続値を設定するために作成された定数を自動化:**
 - **DocuSignURL 定数:** お使いのプラットフォーム用の The DocuSign URL:
 - デモ用プラットフォーム: <https://demo.docusign.net>
 - 製品用プラットフォーム: <https://{server}.docusign.net/>

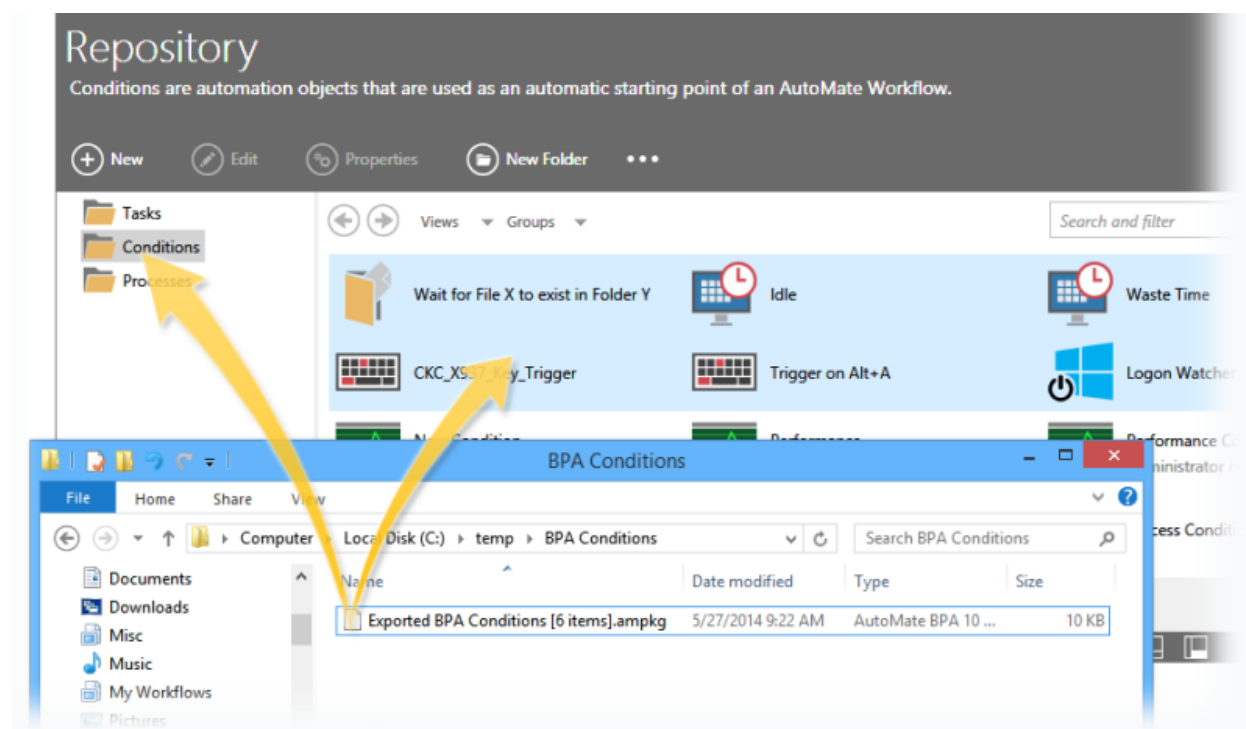


AUTO MATE タスクのインポート方法

互換性のあるファイル形式は、ドラッグ&ドロップでレポジトリに取り込むことができます。

サーバー管理コンソールから[レポジトリ]セクションに移動します。

目的のファイルを元の場所からドラッグして、SMC 内のフォルダにドロップします。ファイルは、フォルダーアイコンまたはメインパネルにドロップすることができます（下図参照）。インポートされたオブジェクトは、自動的に対応するリポジトリの場所に配置されます。





入力ファイルの作成方法

Adobe Sign Bot に同梱されている入力ファイル「DOCUSIGN - EXCEL」を基に新規ユーザーを作成」は、トランザクションのすべてのフィールドを自動的に補完するためのガイドを提供するものです。

入力ファイル

	A	B	C	D	E	F	G
1	DocuSign User Fields						
2	User Name	First Name	Last Name	Email	Language Culture IF Blank: "en"	Permission Profile ID IF Blank: Won't be assigned	Group ID IF Blank: Everyone

H	I	J
Created?	Details	
Yes/No	Date	User ID / Result Message

注:

- 赤色で表示されている項目は必須項目です。
- フィールド内のコメントに注意してください。
- 出力ファイルのH列からJ列には、実行結果と作成時のユーザーIDが記入されます。実行結果の例については、付録Aを参照してください。

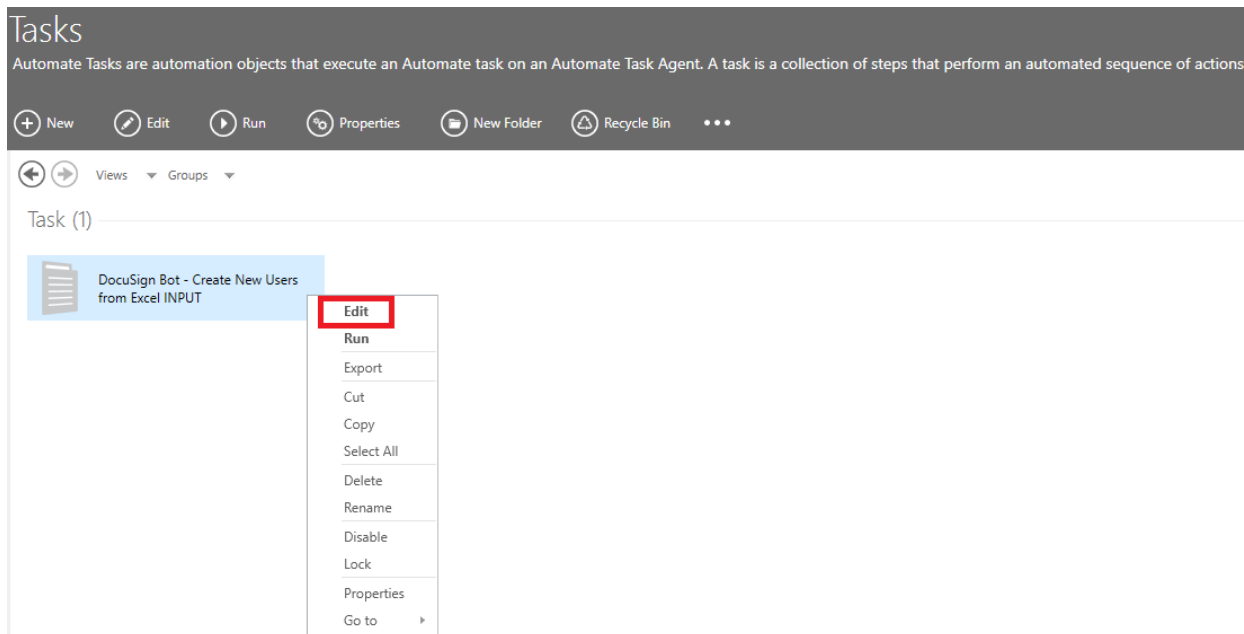


「DOCUSIGN - EXCEL を基に新規ユーザーを作成」の実行方法

このタスクを初めて実行する場合、いくつかのパラメータを設定する必要があります。

サーバー管理コンソールを開き、インポートしたタスクを探します。

インポートしたタスクを右クリックし、「編集」を選択して編集します



ステップ2からは、次の変数をご希望の出力に合わせて編集してください。

- **var_AccountID:** ユーザーに関連付けるアカウント ID を設定します。これは、ユーザーを管理するユーザーアカウントの ID となります。
- **var_ExcelInputFile:** ユーザーを作成するための DocuSign Create Users INPUT ファイルの場所パスと名前を設定します。例: *C:\DocuSign Create Users INPUT.xlsx*
- **var_DocuSignToken:** 接続用トークン (String) またはトークン情報のあるファイルのパスを設定します。トークンは、接続するアカウントに関連付けられることを留意してください。DocuSign 接続/リクエストを実行するためのトークンです。トークンの値、またはトークン情報が格納された.txt ファイルがあるパスを設定することができます。

例: *C:\Automate\DocuSignToken.txt*

.txt ファイルを使用する場合、トークンは次のような形式/構造でなければなりません。

access_token:TokenString



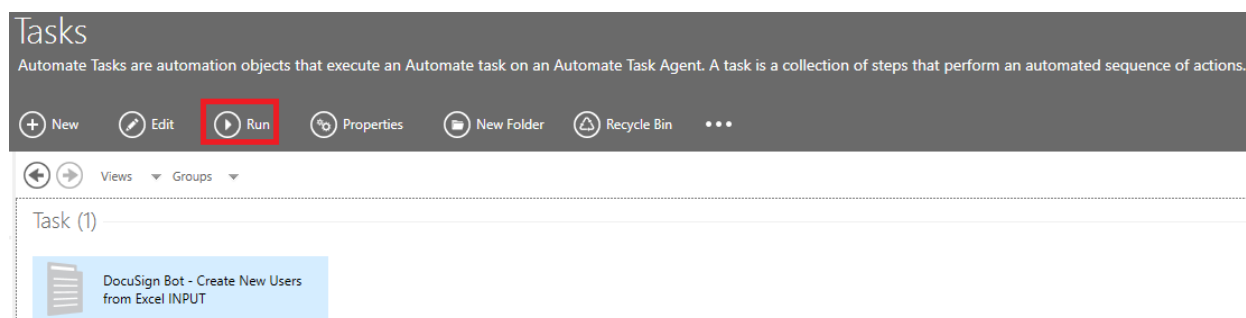
ファイルの一例:

```
*DocuSignToken.txt - Notepad
File Edit Format View Help
access_token:eyJ0eXAiOiJhbnVjIiwiaXNjaW50eSI6ImFsZyI6I1JT
refresh_token:eyJ0eXAiOiJhbnVjIiwiaXNjaW50eSI6ImFsZyI6I1JT
```

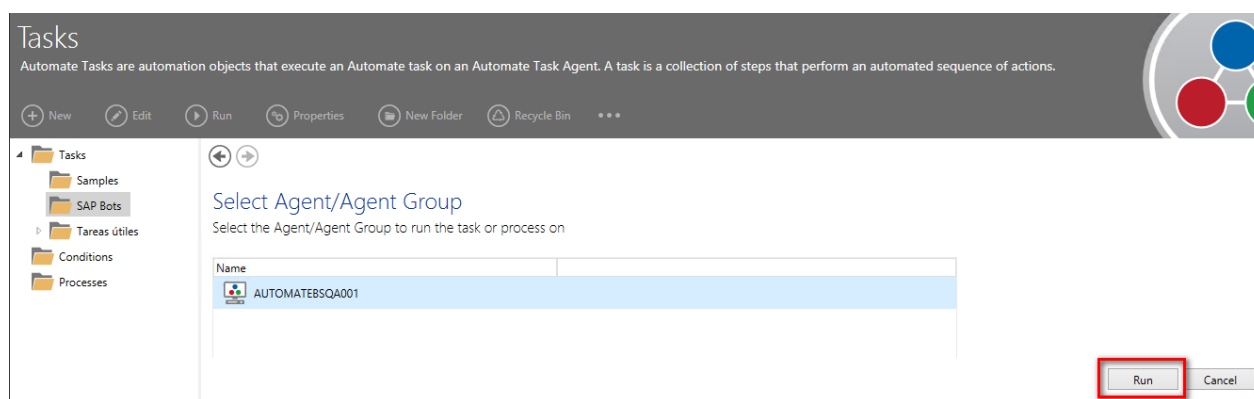
「refresh_token」の値がありますが、これは「DocuSign - トークンの生成と更新」で管理されていることに注意してください。

タスクを保存して閉じる

タスクを選択し、「実行」をクリック



エージェントを選択し、再度「実行」をクリックします。





付録 A – 結果を含む EXCEL ファイルと、DOCUSIGN ユーザーによる結果例

結果が入力された Excel ファイル:

	A	B	C	D	E	F	G
1	DocuSign User Fields						
	User Name	First Name	Last Name	Email	Language Culture If Blank: "en"	Permission Profile ID If Blank: Won't be assigned	Group ID If Blank: Everyone
2							
3	Automate 1	AutomateUser	One	AutomateUserOne@testing.com			
4	Automate 2	AutomateUser	Two	AutomateUserTwo@testing.com	pt_BR		
5	Automate 3	AutomateUser	Three	AutomateUserThree@testing.com			

注: 実行結果は H 列から J 列に書き込まれ、J 列にはユーザー ID が作成されます。

H	I	J
Created?	Details	
Yes/No	Date	User ID / Result Message
YES	25/06/2020 11:26:17 AM	0b19e20e-bc5d-4d5e-b7f7-f73f6f04735d
YES	25/06/2020 11:26:47 AM	d3188001-75f9-4e1f-8796-ba5f5e26ba95
YES	25/06/2020 11:26:56 AM	e1b1aa11-0cf8-41d0-a2d5-31e6aba774ee

DocuSign Users ビューの結果:

Users

Name ▾

Search

FILTERS

Add new users and find, edit, close, or reactivate existing users.

ADD USER

DOWNLOAD USERS

BULK ACTIONS ▾

1 - 7 of 7 users

First

<

>

Last

Filtered by: Permission Profile (DS Viewer), Status (Closed) | [Reset](#)

Name	Email	Added	Status	Permission Profile	Groups	
Automate 1	AutomateUserOne@testing.com	23/06/2020 16:40:01	<div><div></div>Closed</div>	DS Viewer	Everyone	<div>ACTIONS ▾</div>
Automate 1	AutomateUserOne@testing.com	23/06/2020 16:44:55	<div><div></div>Closed</div>	DS Viewer	Everyone	<div>ACTIONS ▾</div>
Automate 2	AutomateUserTwo@testing.com	23/06/2020 16:44:58	<div><div></div>Closed</div>	DS Viewer	Everyone	<div>ACTIONS ▾</div>



付録B-トラブルシューティング

- ログ: 実行毎に、トラブルシューティングのためボットはログファイルを作成します。 ログファイルはC:\Automate\Tasks\<<TASK NAME>>に保存されます。デフォルトでは、タスク名は *DocuSign Bot - Create New Users from Excel INPUT* です。



About HelpSystems

Organizations around the world rely on HelpSystems to make IT lives easier and keep business running smoothly. Our software and services monitor and AutoMate processes, encrypt and secure data, and provide easy access to the information people